

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公開番号】特開 2017-217120 (P2017-217120A)

【公開日】平成 29 年 12 月 14 日 (2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2017-048

【出願番号】特願 2016-112275 (P2016-112275)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 W

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 24 日 (2019.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼を検査する眼科装置であって、
被検眼を検査するための検眼手段と、
左右の少なくとも一方の被検眼を含む顔画像を撮影するための顔撮影手段と、
駆動手段を有し、前記被検眼と前記検眼手段との相対的な位置関係を調整する調整手段と、

前記調整手段の駆動を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、被検眼の 3 次元座標のうち少なくとも 1 つの座標成分を仮定し、仮定した前記座標成分と、顔画像から検出した被検眼の 2 次元座標と、に基づいて、前記被検眼の仮の 3 次元座標を算出し、前記仮の 3 次元座標に基づいて、前記駆動手段を制御することを特徴とする眼科装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、被検者の顔が顔支持手段に支持された状態において、前記被検眼の z 座標を仮定することを特徴とする請求項 1 の眼科装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記仮の 3 次元座標に基づいて、前記被検眼の位置が所定範囲内であるか否かを判定することを特徴とする請求項 1 または 2 の眼科装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記仮の 3 次元座標が所定範囲外である場合、前記駆動手段を駆動させることを特徴とする請求項 3 の眼科装置。

【請求項 5】

被検眼を検査する眼科装置において実行される眼科装置制御プログラムであって、前記眼科装置のプロセッサによって実行されることで、

左右の少なくとも一方の被検眼を含む顔画像を撮影する顔撮影ステップと、

前記被検眼の 3 次元座標のうち少なくとも 1 つの座標成分を仮定し、仮定した前記座標成分と、前記顔画像から検出した被検眼の 2 次元座標と、に基づいて、前記被検眼の仮の 3 次元座標を算出する算出ステップと、

前記仮の 3 次元座標に基づいて、前記被検眼を検査するための検眼手段と前記被検眼との相対的な位置関係を調整する調整ステップと、

を前記眼科装置に実行させることを特徴とする眼科装置制御プログラム。